

実施計画事業名		障害者地域生活支援事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		生活福祉部社会福祉課		課長(主幹)名	熊谷 悦子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉					
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり					
	施策	3	障がいがあっても地域の中で自立できるよう支援します					
	関連施策							
現状と課題	今後の障害者施策では、障害者が地域で自立して生活していくことを支援する仕組みづくりが求められています。障害者自身も地域住民の一員として、就労も含めて自分らしく地域へ貢献をし、障害のある人もない人も、ともに支えあうことが求められている。 自立支援法による自立支援給付(介護給付、訓練等給付)は固定されたサービスであり、それだけでは補うことのできない部分を障害者や介護者のニーズに適切に応えられる体制整備が必要である。							
目的	障がいのある人が必要な支援を受け、地域で自立した日常生活や社会生活を送ることができるようにする							
5ヶ年開の 施策展開	①必須事業の実施…相談支援事業、コミュニケーション支援事業(手話・要約奉仕員の派遣)、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援事業(5種) ②任意事業の実施…日中一時支援事業、生活サポート事業、身体障害者福祉タクシー助成事業、施設通所支援事業、一時帰省奨励事業、自動車運転免許取得支援事業、自動車改造費支援事業、配食サービス事業、更生訓練費給付事業、社会参加促進事業(10種) ③相談支援体制の強化(平成23年度を目的に地域自立支援協議会の設置)、④住宅入居等支援事業の開始に向けての支援 ※H25までに制度改正が見込まれる							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	地域活動支援センターの1日平均実利用者数		人	目標	20	20	25	
説明	地域活動支援センターの1日平均実利用者数			実績	23	28		
	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
活動指標	地域活動支援センターの1日利用定員		人	目標	30	30	30	
	説明		地域活動支援センターを利用される方の1日利用定員(第2期障がい者福祉計画)		実績	30	30	
説明	身体障害者福祉タクシー助成事業利用者数		人	目標	150	160	190	
	説明		身体障害者福祉タクシー助成券交付者数		実績	153	145	
説明	施設通所支援事業利用者数		人	目標	470	470	470	
	説明		施設通所支援事業を利用した人数(各月)の合計		実績	456	420	
説明				目標	-	-	-	
				実績				
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	32,631	38,017	38,507		
	国庫支出金		千円	9,431	9,645	13,943		
	道支出金		千円	4,715	4,822	6,971		
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	1,628	1,255	1,081		
	一般財源		千円	16,857	22,295	16,512		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.70	1.51	1.51		
人件費(B)		千円	11,774	10,254	10,254			
計(A+B)		千円	44,405	48,271	48,761			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<b>a</b> a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<b>b</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 障害者自立支援法上では市町村の地域生活支援事業として位置づけられており、平成23年度以降は細事業化していたものを一本化し、事務の効率化を図るものである。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	<b>a</b> a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<b>a</b> a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 今後も地域活動支援センターを充実することで、社会参加を促進し福祉的就労や一般就労が可能となる環境づくりを進めていく。 なお、活動指標において施設通所支援事業利用者が目標数値を下回った主な原因は、事業所の送迎等によるものであり、自立支援給付事業における就労継続や就労移行の数値は増加している。

【2次評価】

成 果	<b>a</b>	細事業の構成	<b>b</b>	細事業の進め方	<b>a</b>	コスト効率	<b>a</b>
総 合 評 価	<b>A</b> 概ね問題なし						
	<2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--